

埼玉県作業療法士会 広報誌



彩り

冬号

2025年度



● 出張！活動瓦版 特別編

『第一回 埼玉県作業療法士会 広報部座談会 開催レポート』

● リハフェスタ 2025 開催しました！【開催報告】

No.22



— 作業療法に関わる全ての人たちの魅力を伝える情報誌 —

出張！ 活動瓦版

特別編

埼玉県作業療法士会では、ホームページに県内の作業療法士の活動内容や研修会レポートを『活動瓦版』というページで掲載しています！

今回は、先日開催された第一回埼玉県作業療法士会広報部座談会の様子を“特別編”として広報誌『彩り』に掲載します。『活動瓦版』のその他の記事は、埼玉県作業療法士会のホームページを是非ともご覧ください。

第一回 埼玉県作業療法士会 広報部座談会 『伝わる！見やすい！プレゼン資料の作り方』

開催レポート

2025年10月1日に埼玉県作業療法士会広報部主催のZOOM座談会『伝わる！見やすい！プレゼン資料の作りかた』が開催されました。

参加者数は予定を大幅に上回る57名で、参加者への事前アンケートの内容をもとに、これまで数々のプレゼン発表をしてきた経験を持つ防衛医科大学病院の作業療法士 椎名義明氏が『プレゼン資料の作りかた』について講義し、最後に参加者からの質問に答えました。

テーマは以下の内容でした。

1. BASE: パワポ作成前の心構え
2. BUILD: パワポの始め方
3. BOOST: 今どきの「伝える」は AI とともに
4. Q&A からのヒント

プレゼン発表における基礎的な内容としては、パワーポイントを作成する前には、何を伝えたいかを明確に記載したWordから作成するようにしたり、見やすい文字のフォントは「BIZ UPD ゴシック」「游ゴシック」「Noto Sands JP」を選択するとよい、などでした。

また、応用的な内容としては、

AIを使用したパワーポイントや議事録、画像の作成方法など初めて学ぶことも多くありました。

そのため、参加者の興味を引く内容が目白押しで、1時間半の開催時間があっという間のように思えました。

開催後のアンケートでは、皆様から今後の開催テーマについてのご希望が寄せられましたので、広報部では第2回目の開催を検討していきます。

ご参加いただきました皆様、ありがとうございました。

埼玉県作業療法士会広報部Presents

伝わる！見やすい！
プレゼン資料の作り方

参加費
無料
対象
作業療法士
作業療法学生

オンライン開催

講師
椎名義明氏
(防衛医科大学病院)

10/01 水
19:00~ スタート

申し込み先↓

お問い合わせ：広報部 近森貴裕
MAIL saitama.ot.kouhou@gmail.com



椎名氏コメント

今回のセミナーでは「魅せるより、伝える」をテーマに、スライドづくりの基本から、構成・デザインを具体例を交えて紹介しました。テーマが広く、内容をかなり絞り込んでの構成でしたが、“発表のコツ”など大切な部分もまだ多くあります。いつかまた続きのお話ができたら嬉しく思います。情報を盛り込むよりも、何を一番伝えたいのかを整理すること。その意識が変わるだけで、スライドも話し方もぐっと伝わりやすくなります。AIなど新しいツールを取り入れつつも、“伝える力”の原点を見つめ直すきっかけになれば嬉しく思います。



よくある混乱：パワポと配布資料は別に作成する

ビジュアルサポート 配布用資料

バイオコックハンドは
“まだ未発達の未来”だ

スライドは補足するために 読むための資料はWordで

何が言いたいのか先に整理
“パワポを開くのは最後。”

トーン（色・書式・余白の雰囲気）
マナー（使い方のルール）をセットで決める
“テンプレで、迷子ゼロ。”

デザインの一貫性 = 伝える資料

心構え？
ワンスライド・ワンメッセージ

スライド1枚に、言いたいことは1つだけ

ワンメッセージの連続を整理する

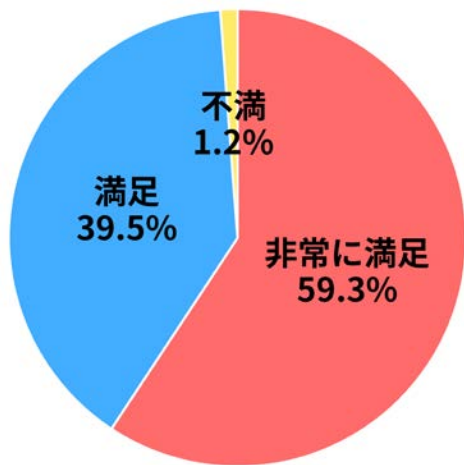
問題提起

結果

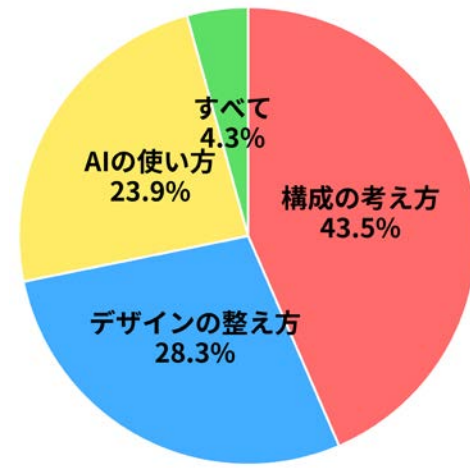
調査では義手は高い満足度が得られています

アンケート結果

◆今回の座談会は、あなたの期待にどの程度沿っていましたか？



◆特に参考になった、あるいは印象に残った内容はどれですか？



◆広報部Presents座談会シリーズとして、今後どのようなテーマを扱って欲しいですか？

- ・生成AIの具体的な活用方法や臨床現場での応用について
- ・資料作成・発表方法の応用と深掘り
- ・相手に伝わりやすいポスター作成方法
- ・症例発表のポイント
- ・今回の各項目を深掘り(今回のテーマの基礎知識を応用・発展させてほしい)

埼玉県作業療法士会 広報部の活動内容ご紹介

埼玉県作業療法士会
ホームページ→



- ・埼玉県作業療法士会ホームページの作成、編集
- ・広報誌『彩り』の編集、発行（インタビュー、取材）
- ・県士会員の活動や研修会をSNS (Instagram、X、Facebook) で発信
- ・県士会員に向けた研修案内等の『電子定期便』を発信
- ・埼玉県作業療法士会広報部公式キャラクターの作成、運用
- ・ノベルティステッカー作成
- ・埼玉県作業療法士会養成校在学中の学生さんを『広報部 学生サポーター』として起用、活動
- ・埼玉県作業療法士会公式ロゴマークの募集、投票、起用

etc...



埼玉県作業療法士会広報部へのご意見やご要望がありましたら是非こちらまで♪
広報部の活動に興味のある方、一緒に活動したい方もご連絡お待ちしております♡

☒お問い合わせ先
saitama.ot.kouhou@gmail.com



PTOTST合同

彩の国リハフェスタ2025

開催しました！

リハビリテーションを伝えたい！

10/25 土 10:00~15:30

ふれあいキューブ（春日部市）

入場
無料

リハビリテーションフェスタとは

市民の方にリハビリテーションをより身近に感じていただくことを目的に、埼玉県理学療法士会・言語聴覚士会と三士会合同で開催している啓発イベントです。昨年度は新型コロナの影響を経て、5年ぶりに川口市で開催され、今年度は春日部市での開催となりました。

作業療法士会の取り組み

埼玉県作業療法士会では、「作業（＝人が生活の中で行う意味のある活動）」を通して、生活を支える専門職である作業療法士の役割を、市民の皆さまに体験していただきました。

- ・ 認知症・認知機能に関する体験・日常生活を助ける自助具の紹介
- ・ 子どもの感覚統合遊び・作業を通じたレクリエーション（ヤカーリング）



会場入り口



日常生活お助けグッズ

当日の様子

当日はあいにくの雨でしたが、小さなお子様・小学生から高齢者まで幅広い年代の方々が会場に足を運んでくださいました。

「楽しそう」「生活に役立ちそう」といったきっかけで立ち寄った方や、通りがかりに声をかけられて参加された方など、来場の動機はさまざまでしたが、各ブースでは終始、笑顔や活発なやり取りが見られました。

作業療法士会が担当したブースでは、子どもの遊び、日常生活の工夫、認知機能への気づきといった、生活に直結する体験を通して、作業療法の視点を市民の皆さまに伝えることができました。



ハロウィンの時期のため
仮想できるスペースも設けました
記念写真★

認知機能検査体験



補助箸を使ってお豆移し



やかんを使った
ヤカーリング

ビー玉を使ったコマ作り



来場者のコメント



- ・自分が今どの程度なのかを知るきっかけになりました
- ・老化や認知症について、自分事として考える良い機会でした
- ・日々の積み重ねや予防の大切さを感じました

- ・子どもが楽しみながら体験できるイベントで良かったです
- ・手先や体幹の弱さについて相談でき、参考になりました
- ・発達特性のある子どもと関わる専門職について知ることができました



- ・OTの仕事がよく分かりました
- ・生活に役立つアイデアがたくさんあり、勉強になりました
- ・作業療法が幅広い分野に関わっていることを知りました



参加したスタッフのコメント

今回参加させていただき、各ブースに職種それぞれの特徴が出ていてとても興味深かったです。来場された方と交流しブースを体験している姿を見ることで、地域に根ざしたりハビリとその重要さを実際に感じることができました。貴重な体験をありがとうございました。

作業療法士 遊馬



それぞれのブースで職種の色が出ていて興味深いと感じました。

認知機能検査ブースでは、様々な年代の方に来ていただき、認知症を自分事として考え、予防や早期発見に目を向ける機会を提供できてよかったと思いました。

作業療法士 田村



来年度も同じふれあいキューブにて2026年10月3日(土)に開催予定！
ご参加お待ちしております！